

# 地球温暖化防止と再生可能エネルギー

地球温暖化、原発事故後のエネルギー問題に対して、省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの普及・拡大に取り組みました。



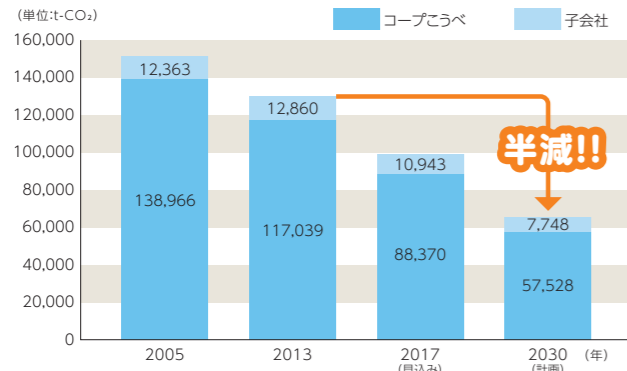
LED照明への切り替え

## 長期的なCO<sub>2</sub>削減計画

環境にやさしい事業活動を通じて組合員の暮らしを守る生協として、2020年までにCO<sub>2</sub>排出量を約35%削減(2005年度対比)する長期目標のもと、取り組みをすすめた結果、すでにこの目標を達成しています。

更なるCO<sub>2</sub>削減をめざし、2030年までにCO<sub>2</sub>排出量を半減させる計画を2017年度策定し、取り組みをさらに強化していきます。

### 2030年までのCO<sub>2</sub>削減計画



## 省エネチューニングを試験導入

冷蔵冷凍機器や空調の運用調整によって省エネ効率を改善させる「省エネチューニング」を、18事業所で試験導入しました。1事業所あたり、最大で月間13.2%の電気使用量が削減されました。



省エネチューニング作業

## スマートKCを開設



2017年10月に新設したスマートKC(協同購入センター伊丹)

## 太陽光発電所を拡大

コープこうべグループでは、2013年9月以降、再生エネの普及を目的に、兵庫県と大阪府に太陽光パネルを設置し、太陽光発電を推進してきました。

2017年度は新たに、6月に西神戸発電所、9月に伊丹発電所が稼働し、2018年3月末現在、合計20か所(年間で一般家庭2,211軒分の発電量)の太陽光発電所が稼働しました。



西神戸発電所(協同購入センター西神戸)



- ① 鳴尾浜発電所
- ② 稲美発電所
- ③ 北神戸発電所
- ④ 姫路東発電所
- ⑤ 氷上発電所
- ⑥ 高槻発電所
- ⑦ 三木三津田発電所
- ⑧ あこや学園発電所
- ⑨ 神吉発電所
- ⑩ 西播磨発電所
- ⑪ WJS魚住発電所
- ⑫ 須磨発電所
- ⑬ 尼崎発電所
- ⑭ 丹波発電所
- ⑮ 大王丹波発電所
- ⑯ 箕面発電所
- ⑰ 淡路発電所
- ⑱ 西神戸発電所
- ⑳ 伊丹発電所

## コープこうべのエネルギー政策



コープこうべでは、2013年7月「コープこうべのエネルギー政策」を策定。3つの基本方針に沿って、組合員や地域社会とともに、持続可能なエネルギー社会に向けた取り組みをすすめています。

### 1 へらす

くらしや事業で省エネルギーを進めます

- ① 事業における省エネの推進
- ② くらしにおける省エネの推進

### 2 つくる

再生可能エネルギーを利用した発電事業を進めます

- ① コープこうべが進める発電事業の推進
- ② 地域や組合員が進める発電事業の推進

### 3 つかってひろげる

再生可能エネルギーによる電力供給事業を進めます

- ① コープこうべの施設で再生エネを使用する事業の推進
- ② 組合員への電力小売事業の推進

## 再生エネ電力を事業所で利用

再生エネ電力を含む「コープでんき」を、組合員の家庭にお届けするだけでなく、コープこうべの88事業所にも供給し、再生エネのさらなる普及と事業から排出されるCO<sub>2</sub>の削減をすすめています。



コープでんきを利用する店舗(コープ園田)

## 組合員への電力小売事業(コープでんき)

→1ページ参照

## エネルギーをテーマにした川柳コンテストを行いました

「エネルギーの未来」をテーマに川柳コンテストを実施し、大人・子ども両部門合わせて178人、455句の応募がありました。外部専門家の審査と一般組合員の投票の結果、大人部門・子ども部門各10作品の入賞を決定しました。

- 大人部門**
- 最優秀賞 ● 選ぶなら未来想いの電源を
- 優秀賞 ● 省エネの最大の敵無関心  
● できるかなママのカミナリ発電に  
● 孫たちへ残す遺産はクリーンエネ
- 子ども部門**
- 最優秀賞 ● 簡単だ早寝早起きエコですよ
- 優秀賞 ● たまにはね電気を消して星を見て  
● 冷蔵庫開けるチャンスは5秒だけ  
● 節約だ! 外で遊ぶぞみんなでね



エネルギー川柳コンテスト表彰式



エネルギー川柳コンテスト大人部門 最優秀賞受賞 谷口 功さん

地球温暖化防止活動推進員として、小学校などで環境学習を行っています。地元、丹波篠山の特産「山の芋」を育ててグリーンカーテンにし、収穫後は子どもたちと食べながら省エネや地域のことを話しています。今の世代だけでなく、未来の子どものことを考えました。

## エネルギー学習の取り組み

組合員と共に地球温暖化やエネルギー問題などの「コンセントの向こう側」にある社会的課題を考える学習会を始め、省エネ学習、エネルギー施設の見学会、子ども向けイベントなどを38回開催し、のべ868人が参加しました。また、2017年に作製した学習教材「電気になるものはなあに?」「電気を見える化しよう!」は組合員・職員がエネルギーを身近に考え、学びを伝え合うツールとして貸出しを行い、学習会も含めたべ52回活用されました。



エネルギー見学会(大阪ガス側のガス科学館)